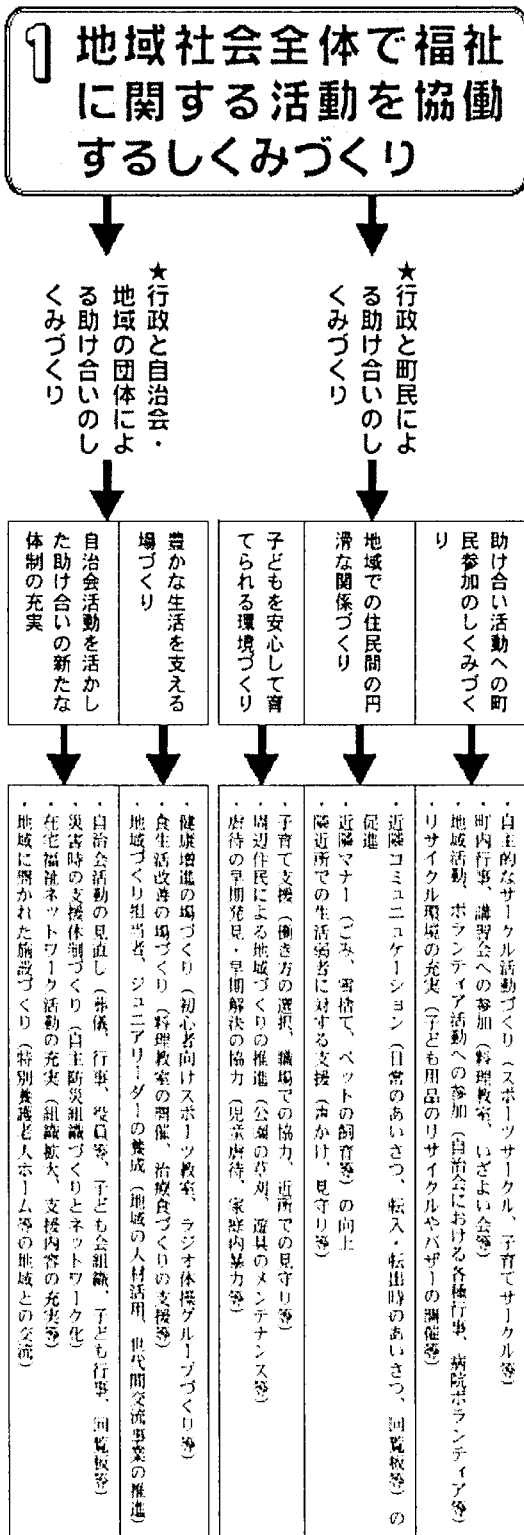


地域福祉計画骨子案（施策の流れを示した図）

施策の目標は、社会福祉の向上を地域で実現させるために、社会福祉法（七条（以下）で定められた市町村地域福祉計画に盛り込むべき事項①地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項②地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項③地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項）をもとにして作成しています。

施策の目標1、2、3、4は、地域福祉を推進するため、本町において策定済みの「銀河福祉タウン計画（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」、障がい者保健福祉計画、子育て支援計画等、福祉関連の個別計画において解決が難しい日常生活課題等への対応を町民や自治会、福祉関係団体、福祉サービス事業者、社会福祉協議会、役場がさまざまな形態で協働し、解決するしくみや活動の目標を定めたものです。



◎目標

◎基本方針

◎施策の展開方向

◎主な取り組み内容



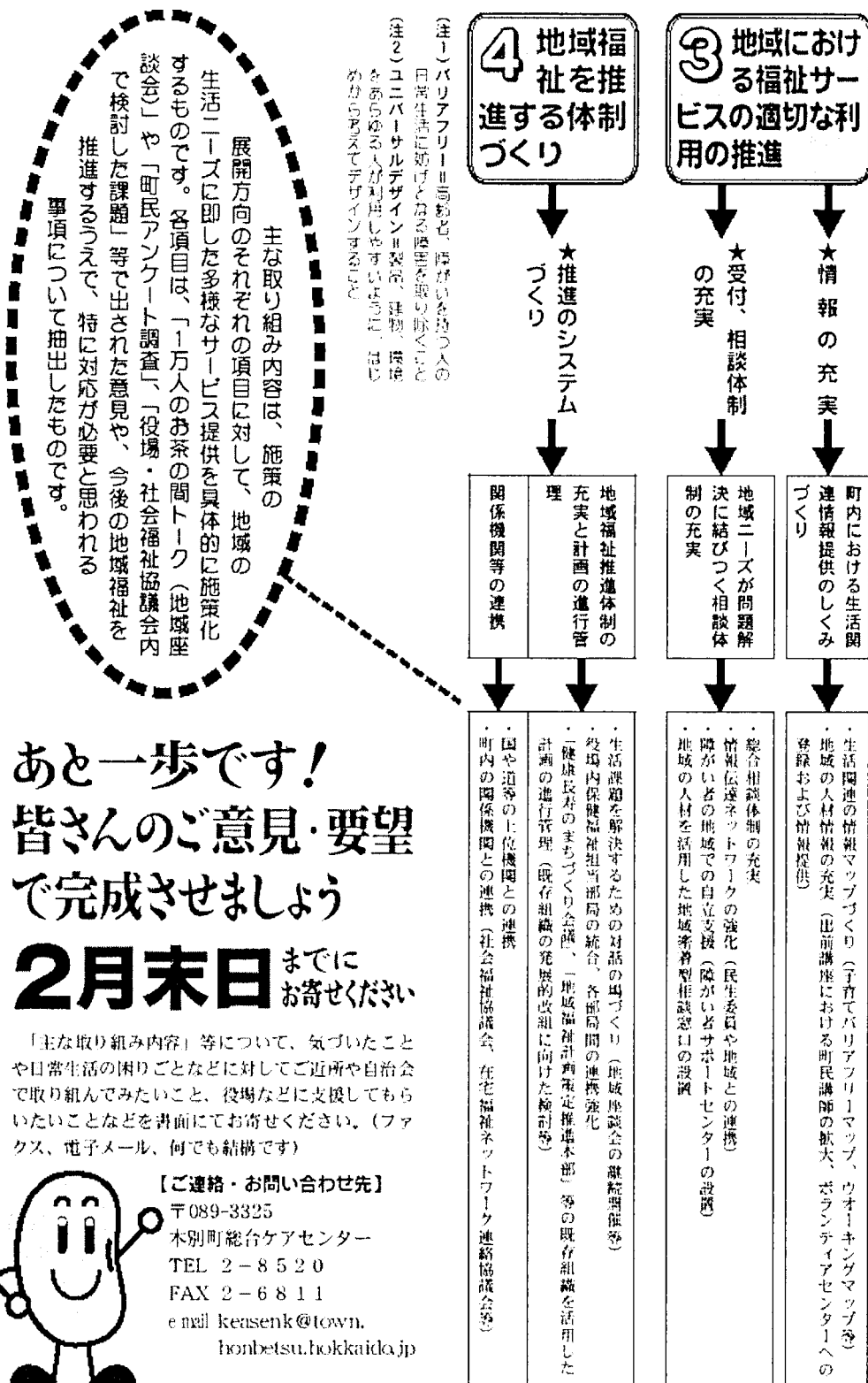
ご意見をお待ちしています

こちらで大詰めです 本別町地域福祉計画

本町が全国にさきがけて平成十五年七月から策定を開始した「地域福祉計画」は、平成十七年三月の完成に向けて大詰めを迎えています。これまで二度の講演会、アンケート調査、そして皆さんが直接カードに記入し八七一もの課題・意見を出し合った地域座談会。それらの結果をもとに平成十六年七月、「みんなで考える地域福祉研修会」を開催し、課題ごとの解決策に知恵をしぼっていただきました。

これまで住民の皆さんの参加で、皆さんの意見、思いなど数々の活動で得たものから地域福祉計画の骨格を示す図を次の通り作成しました。計画は、三月の完成に向けてまとめの段階にあります。左図に対して皆さんのご意見を広くいただき、いただいたご意見を策定推進本部・策定委員会（健康長寿のまちづくり会議）で検討し、計画を策定・公表いたします。



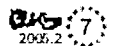


あと一步です！
皆さんのご意見・要望
で完成させましょう
2月末日までに
お寄せください

「主な取り組み内容」等について、気づいたことや日常生活の困りごとなどに対してご近所や自治会で取り組んでみたいこと、役場などに支援してもらいたいことなどを書面にてお寄せください。（ファクス、電子メール、何でも結構です）



【ご連絡・お問い合わせ先】
〒089-3325
本別町総合ケアセンター
TEL 2-8520
FAX 2-6811
e mail keasenk@town.honbetsu.hokkaido.jp



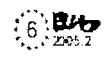
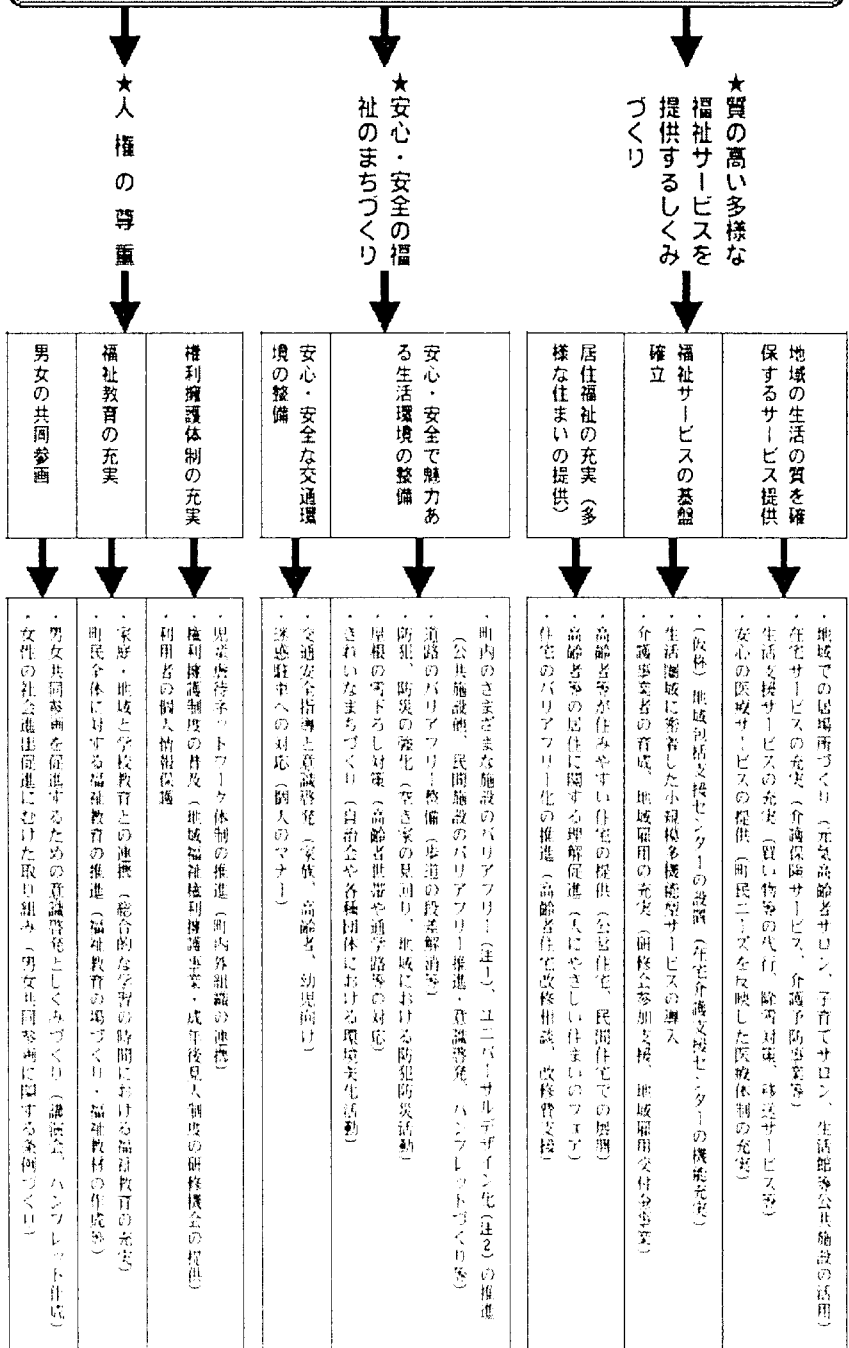
2 地域福祉サービスの環境づくり

◎目標

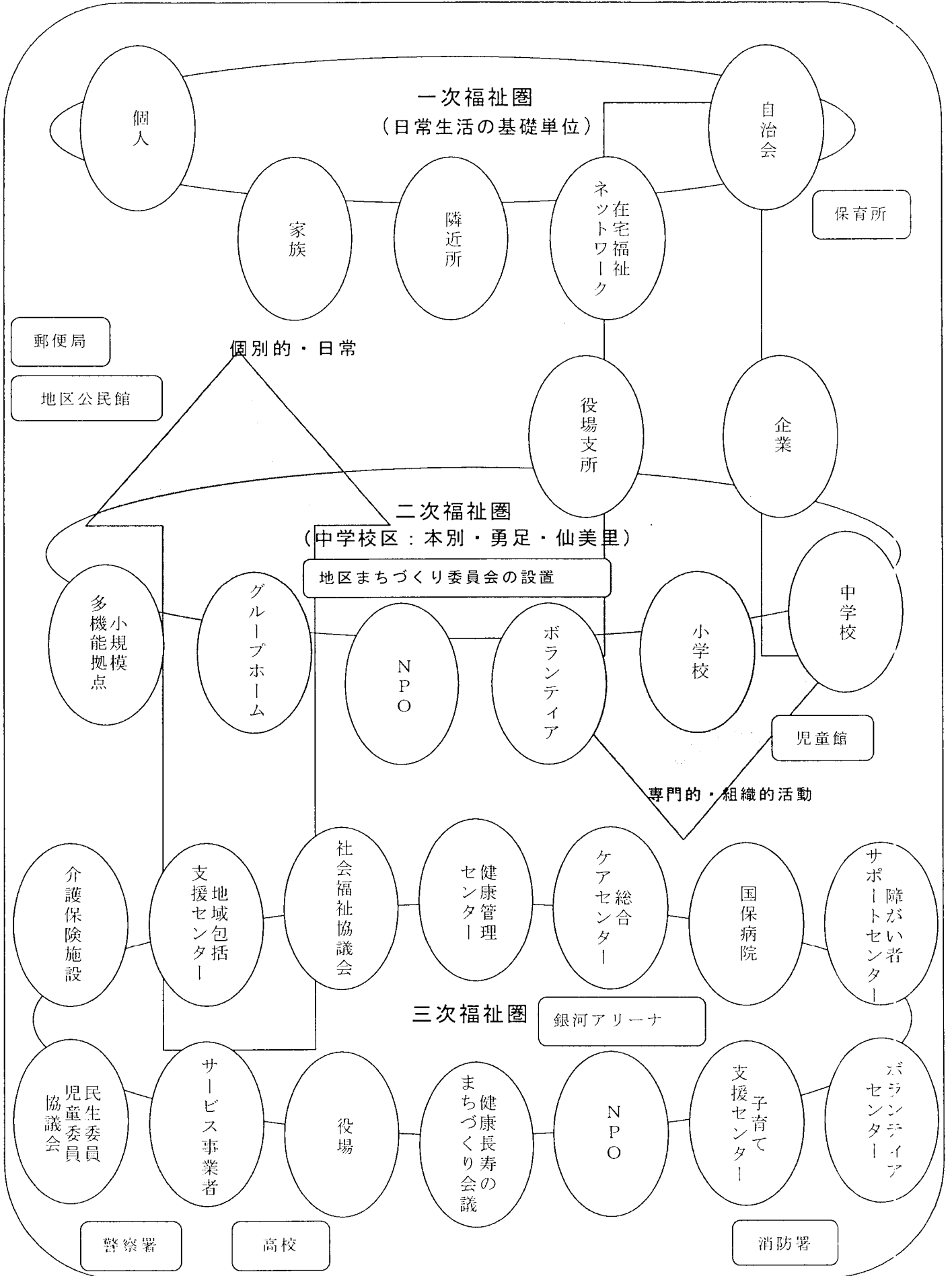
◎基本方針

◎施策の展開方向

◎主な取り組み内容



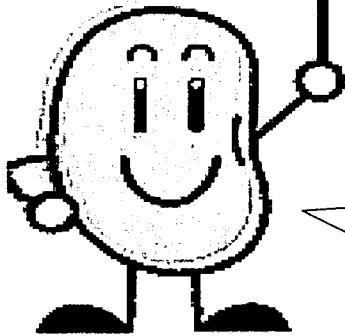
地域福祉圏域のイメージ



「1万人のお茶の間トーク」

～今こそ発揮！ご近所の魔力～

地域福祉座談会のご案内



○ ○ ○ 自治会の皆さん、

いつまでも安心して住み続けられる地域をつくるために、日頃抱えている悩みや困り事、そして、それらを解決するために、お互いに何ができるのかを一緒に話しあいましょう！

皆さんの参加をお待ちしております。

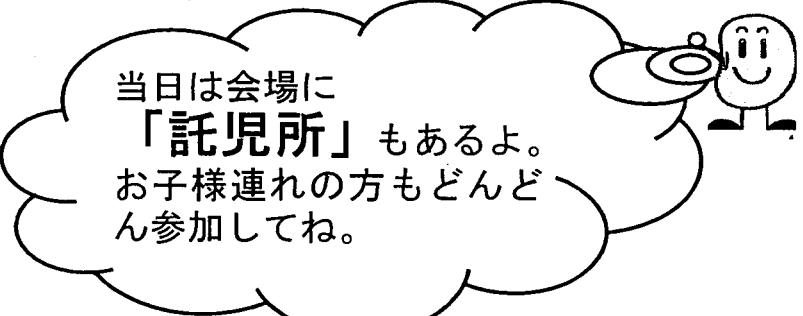
本別町では、道内で唯一、国のモデル指定を受け、今年度から来年度にかけての2ヶ年で『地域福祉計画』を策定いたします。

各地域の皆さんの「声」「想い」「活動」を計画に反映させる事が重要であり、町内を20地区に分けて座談会を開催いたします。

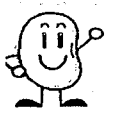
この座談会の特徴は、挙手や指名によって一部の方から意見を集約するのではなく、「ご自身や地域が、日常生活の中で抱えている悩みや困り事」を参加者一人一人がカードに書いていただく「カード記入方式」を取り入れて実施します。

参加したすべての皆さんから意見を集約し、悩みや困りごとを1つでも解決するため、一緒に話し合っていきたいと考えておりますので、子どもからお年寄りまで多くの皆さんの参加をお待ちしております。

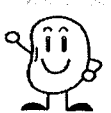
カード記入のヒント・記入例を裏面に記載しておりますので、座談会にお持ちより下さい！



【日 時】 平成 年 月 日 ()
 ○○時○○分～○○時○○分
 【会 場】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 【対象自治会】 ○○自治会・○○自治会・○○自治会
 主催： 本別町・本別町社会福祉協議会
 《本別町地域福祉計画策定推進本部》



問い合わせ先：本別町役場福祉課（2-2141）
 本別町総合ケアセンター（2-8520）



カード記入のヒント(てがかり)

◎課題は下記の6分野に区分することとします。

◎記載した内容はあくまでも例です。これにとらわれず、自由にカードに記入してください。

◎記入したカードが、どの分野かわかるものはカードの左上に番号を記入してください。



4 (課題番号)

足が不自由なので、地震などの災害の時一人で避難できるか不安だ。

例) 足が不自由なので、地震などの災害の時一人で避難できるか不安だ。

という課題を抱えている場合は、分野番号4(交通・防災)を左上に記入し、課題等を記入して下さい。(右参照)

分 野	内 容
1. 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が健康づくりに無関心 ・食生活の改善についてもっと情報がほしい ・糖尿病食などの治療食を作れない ・健康のため運動したいが、運動する機会がない
2. こども(学校) 高齢者 障害のある人	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにこどもの遊べる広場などがあつたらいいのだが ・子育てに悩んでいる人がいる ・近所に介護に疲れたおばあちゃんがいて、心配だ ・閉じこもりがちな父親の話し相手がほしい ・障害のある子がいるが、親が亡くなったら心配だ ・障害のある人も気がねなく参加できるイベントがあつたらいいのだが(一緒に参加してくれる人がほしい)
3. 自治会・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動に参加しない人が増えてきた ・年々高齢化が進み、盆踊り等をやるのが大変になってきている ・役員のなり手、後継者がいない ・葬儀をやるのが大変になってきている ・となり近所の付き合いがなくなってきた
4. 交通・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・通院の足がなくて、隣のお年寄りが困っている ・高齢者や障害のある人が散歩しやすいように、段差がない歩道をつくってほしい ・足が不自由なので、地震などの災害の時一人で避難できるか心配だ ・災害の時、どこに避難していいかわからない
5. 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しのマナーがなってない ・ごみの分別が大変だ、 ・犬、猫のふんで困っている ・夜、車の音がうるさくて眠れず困っている
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をしたいが、どうすればいいかわからない ・訪問販売(押し売り)が多くて怖い、どうにかしてほしい ・高齢者や障害のある人、妊婦さんなどの意見を聞いてくれる場がほしい ・子育て、介護のため、外出の機会がない

「一万人のお茶の間トーク」～今こそ発揮！ご近所の底力～ (地域福祉座談会)タイムスケジュール

地区名：

日 時：平成 年 月 日（ ） ※午後7時～午後9時の場合

会 場：

参加者：

予定時間	実際の時間	式 次 第	摘 要
18:30		事務局員集合/会場準備	◇リーダー、サブリーダー 地域代表者と打ち合わせ
		受 付	【担当： 】 資料、筆記用具等配布
19:00		<地域座談会開始> 自治会（地区）代表者あいさつ 5分	【進行： 】 【自治会長】
19:05		地域福祉計画及び座談会の主旨説明 12分	【リーダー】 サブリーダーが紹介する
19:17		担当職員自己紹介 3分	
19:20		座談会の流れ（時間配分、カード記入）、地域 データ（チラシ裏面）・地域特徴の説明 10分	【進行：サブリーダー】
19:30		<生活課題の検討> 課題のイメージづくり 10分	
19:40		カード配付・記入作業 10分	カード記入のヒントを使う
19:50		カードの分類・整理 10分	提出順にカードを読上げながら 分類
20:00		出された課題についての話し合い 45分 参加者からの質問	
20:45		まとめ 10分 参加者感想	・参加者から感想をもらう ・担当者も感想を言う ・今後の計画策定予定を説明
20:55		<座談会終了> 5分 ・お礼のあいさつ ・自治会（地区）代表者あいさつ	【進行： 】 【リーダー】 【自治会長】
21:00		終 了	

※時間配分は目安です。

※時間管理は「記録」が担当し、その経過を記録しておくこと。

第6号

ひとが変わる 地域が変わる 自分が変わる

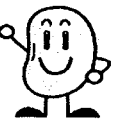
担当はケア
センター村本です。

地域福祉推進活動だより

「1万人のお茶の間トーク」 ～今こそ発揮！ご近所の魔力～



461人と871枚のカードに感謝



昨年10月27日に行った向陽町でのモデル座談会を経て、1月20日から本格的にスタートした地域座談会は、自治会、担当された職員の方のご協力により、2月27日をもって全ての地区が無事終了いたしました。ほんとうにありがとうございました。

担当した職員は、座談会の開始前は緊張の高まりとともに、何ともいえない不安を感じたり、地域の率直な意見に一瞬頭の中が真っ白になったり、また、目の前の沢山のカードに喜びを感じるとともに、カードを読みあげながら「どうやってまとめようか」と悩んだりもしました。そして苦労したことは、地域のみなさんとの討論から解決策を導くことが難しいことでした。ともすれば、先に結論を言ってしまったりして…。なんにせよ、一人ひとりが貴重な経験ができたのではないのでしょうか。

今回は、2月15日・20日に開催された3地区の様子をお知らせいたします。

北7丁目・北8丁目自治会

地区の人口：539人 地区の世帯数：251世帯（いずれも15年12月末現在）
会場：北地区交流センター 時間：13時30分～15時30分
担当職員：政策室 大住室長（リーダー） 福祉課 長屋主査（サブリーダー）
老人ホーム 大場寮母・井戸川主査（記録）

参加者：37人

出された課題(カード)の数：64枚

課題についての話し合いのなかで出された意見（抜粋）

※「座談会もいいが、実際に役場職員が独居等訪問して話を聞いているのか」という意見からスタート！

○最近、葬儀の仕方も多様化してきているが、専門業者に頼んでも2人位しかこないの、他は地域の協力手伝いがなければならない。

（勤務の都合等で男性のお手伝いが確保しづらいとの意見も）

○病院通院の足がなく、高齢者が困る。（北6丁目の方は北8丁目の停留所まで遠い）

○緊急の場合、身近で連絡できる体制づくりが必要ではないか。

⇒北7丁目自治会では、福祉委員を各班に配置し緊急時の連絡体制をとっている。

⇒北8丁目自治会では、災害時に1時間以内には居宅訪問している。

○大雪の場合、自分のところで精一杯。高齢者世帯まで手が回らないのが実態。

○（ゴミ問題）いくら話をしても、自分のために一生懸命やるんだという気持ちがあってはじめて人のためになる。自覚が必要。などなど・・・

※最後に北8丁目自治会、佐々木自治会長から「地域では非常に多くの意見をかかえているんだと改めて確認させられました。これからも住みよい楽しい地域づくりに邁進したいと思います!!」とご挨拶いただきました。

地区の人口：628人 地区の世帯数：239世帯（いずれも15年12月末現在）

会場：新町集会所 時間：19時00分～21時00分

担当職員：選挙管理委員会 清水局長（リーダー） ケアセンター 飯山主査（サブリーダー）
老人ホーム 松浦寮母・北野主査（記録）

参加者：26人

出された課題(カード)の数：37枚

課題についての話し合いのなかで出された意見（抜粋）

※座談会の主旨、合理化の意味などについて冒頭から熱い討論で幕開け。

○高齢者の方で、ひとりで除雪できない人がいると聞いて対応したいが。

→自治会としてもネットワークで話し合いを進めていく。

○（ゴミの分別について）範囲外の人でも残ったゴミの分別等に協力してくれる。

金曜日に残っていることが多く、お互いに協力し合い和にもつながっている。

○ゴミの分別について、名前を書いていただく方法をとっているが、まだまだ浸透していない。年末には衛生だよりを出してゴミステーションを閉鎖している。

○役員のなり手がいない。若手がいない。

○高齢者における緊急システムが具体化しているのか。

○（新町地区には）排雪所があり、その作業中に狭い道でトラックとすれ違うが、道が閉鎖状態となる。上手くローテーションできないものか。

（その他にもいろいろなご意見をいただきました）

※前佛自治会長から「地域福祉の実現に向けて、それぞれ行政で対応できるもの。自治会で対応できるものを検討していきたい。」とのご挨拶をいただきました。

地区の人口：407人 地区の世帯数：184世帯（いずれも15年12月末現在）

会場：本別町体育館 時間：19時00分～20時45分

担当職員：出納室 三好室長（リーダー） 福祉課 毛利補佐（サブリーダー）
ケアセンター 森下保健師（記録）

参加者：16人

出された課題(カード)の数：36枚

課題についての話し合いのなかで出された意見（抜粋）

※丁寧な議論がされていたようです。（それとも報告書のまとめ方がいいのかな?）

○役員の担い手は、地域のデータから65歳以上の割合をみると、結論はでている。

半永久的に担い手を確保することは難しいのではないか。

○この地域は商業地域であり、昔と違って家族ぎりぎりですべてをやっているのだから、参加するといつても店を閉めてまでも活動することは難しい。

○ゴミの出し方は話し合いで解決するが、故意ではなく、高齢者などがわからなくて出す場合がある。地域によってはネットワークで分別を手伝っているが、地域で行うにも限界がある。有償ボランティアなど、高齢者が増加してくる将来に向けて考えていかなければならない。

○ペットの糞の問題は、大通りが特にひどい。マナーがひどい。

○（訪問販売・悪徳商法の問題から）地域では話し相手や楽しみもない。そのような店に行くととても親切で話がおもしろいと言う。地域で一人きりにならないように、サロンのようなものが地域でも必要になってくるのではないか。このような場を通して情報交換ができる。悪徳商法にだまされることへの予防にもなるのでは。 などなど・・・

※最後に北2丁目佐藤自治会長から「自治会でも取り組めることはあると感じたので、持ち帰り検討していきたい。」とのご挨拶をいただきました。